

いずみさの
教 育



問合先
学校教育課

泉佐野市「子どもの主張コンクール」

今年度より、市立小・中学校に在籍する児童・生徒を対象に、泉佐野市「子どもの主張コンクール」を開催しています。このコンクールは、これからの時代を担う子どもたちに、思考力や表現力、提案力を高めるとともに、仲間と協力して計画を実行する力を育むことをねらいとしています。

今年度は、以下の学校が最優秀賞に選ばれ、教育委員会表彰式で表彰されました。

【小学校部門】末広小学校 代表委員会「異学年交流を増やそう！」

【中学校部門】長南中学校 人権問題研究部「十人十色」「男」「女」だけじゃない十人いれば十の性

では、実際に子どもたちはどのように取り組んだのでしょうか。今年度の最優秀賞を受賞した末広小学校の取組を紹介いたします。

①より良い小学校にするために、したいことについて話し合う：「もっと、下の学年の子たちと関わりたい」「でも現状は…」

②自分たちにできることを考える：「昼休みに遊びの交流をしよう」「勉強を、高学年が低学

年に教えに行こう」「でも、授業時間内では限界もある」「もっと自然に交流する方法はないかな」

③今すぐに行けることをやってみる：

●アクション1：掃除の時間に他学年の応援

●アクション2：休み時間に1年生の教室訪問

●アクション3：クラスの「みんな遊び」の時間に、他学年を誘って一緒に遊ぶ

④他にもできることを考え、ふり返る：「児童朝礼でもペア学習で並んでみたら」「遠足に異学年で行ってみるのも面白いかも」「高学年が進んで他学年と接していくことで、末広小を笑顔いっぱいに行ける！」

このように、それぞれの小・中学校で子どもたちが課題意識を持ち、自分たちで取組を考え実行していくことで、今後社会に出たときに必要となる「主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力」を育てていきたいと考えています。また、次期学習指導要領で求められている、教科横断的・総合的な学習や探究的な学習を進めていきます。

学校園紹介



佐野台小学校の平和学習「修学旅行に向けて」
～佐野台小学校～

本校の人権教育の柱の一つに「平和への思いを確実にする教育内容の創造」を掲げ、毎年全学年が「反戦平和」に関する教育内容を工夫し、取り組んでいます。今年度は国語科道徳などの教材や、地域の人から戦争や戦後の復興に関するお話をしていただく機会などを通し、平和学習の取組を進めてきました。

【平和登校日（8月6日）】

広島平和記念式典が行われる日、今年も朗読グループ「サルビア」をお招きし、「いわたくんちのおばあちゃん」（天野夏美作／はまのゆか絵）の読み聞かせを全校児童にさせていただきました。



【全校児童で折り鶴づくり】

広島平和公園にある「原爆の子の像」に捧げる千羽鶴を、6年生が中心となり1～6年生の縦割り班でつくりました。



【ヒロシマへの修学旅行】

原爆ドームを前にし、その迫力に圧倒されました。「原爆の子の像」の前では、6年生一人ひとりの願いを代表が「平和への誓い」として述べ、全員で歌「ヒロシマの有る国で」と黙祷を捧げました。広島平和記念資料館の見学や平和公園の碑巡りなど学習を進め、子どもたちの平和への強い願いが伝わってくる活動でした。



言語活動の充実をめざして
～日根野小学校～

日根野小学校は、大阪府教育委員会より「スクールエンパワーメント推進事業（昨年度は、確かな学びを育む学校づくり推進事業）」の指定を受け、2年目を迎えています。

昨年度から実施している「書きチャレ」の授業では、全ての学年で文章の書き方をていねいに指導し、書くスキルを高める学習を積み重ねてきました。子どもたちは、習った文章の書き方を使いながら、より伝わりやすい文章になるように、工夫しながら文章を書くことが出来るようになってきました。児童におこなった「学習についてのアンケート」においても、文章を書くことに対する自信が少しずつ高まってきていることがわかります。



また、今年度は、子ども自身がより学びを実感できる授業づくりをめざして「日根野スタンダード」を作成し、めあてやふり返しなど、授業の流れを学校全体でそろえて実施しています。さらに授業では、自分の考えを文章で書く活動の「書きタイム」、考えたことを友だちに話す活動の「伝えタイム」を全ての教科で取り入れています。



▲書きタイム

これからも、学習の中で、友だちと深く関わり合い、高め合いながら、子ども一人ひとりの言語活動を充実させた取組を学校全体で進めたいと考えています。



▲伝えタイム